



2025 年 6 月 16 日

JFE エンジニアリング株式会社

アーバンエナジー株式会社

アーバンエナジーの太陽光発電コーポレート PPA サービス導入 100MW 突破^{※1}

～オフサイト PPA 拡大により、累積導入量は 2 年で倍増～

JFE エンジニアリング株式会社（社長:福田 一美、本社:東京都千代田区、以下、「JFE エンジニアリング」）が 100%出資する新電力会社のアーバンエナジー株式会社（社長:川原 太郎、本社:神奈川県横浜市）はこのたび、太陽光発電コーポレート PPA サービス^{※2}（以下、本サービス）について、累計発電容量が 100MW を突破しました。

2021 年度より開始した本サービスは、日本政府が掲げる 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた施策ならびに、昨今の世界情勢により高騰する電気代の削減対策として、導入企業が急増しています。そのペースは加速度的に増え、累計発電容量 50MW を達成した 2022 年度から 2 年で 100MW に達し、様々な業種のお客さまの脱炭素化に貢献しています。

本サービスは、お客さまの敷地内に太陽光発電設備を設置するオンサイト型サービス（図 1）からスタートしました。2023 年度からは、お客さまの敷地外に設置するオフサイト型サービスのニーズが高まり、オフサイト PPA フィジカル（電力と環境価値を一体で供給）（図 2）、オフサイト PPA バーチャル（環境価値のみ供給）（図 3）、とサービスが多様化しています。現在提供するサービスの比率は、オンサイト：オフサイト＝6：4となっています。

また、初回の導入成果をご評価いただき、設備の段階的な拡充を進められるお客さまが増えています。帝人株式会社では、2023 年度に岩国事業所に 475.2kW(AC 出力 350kW)（写真）、2024 年度に三原地区に 2,407.3kW(AC 出力 1,875kW)の設置を完了しています。

当社の強みは、再エネ発電所を含めたエンジニアリング事業での長年の実績をベースとした技術提案力と JFE グループ既存事業との組合せを活かした高付加価値化にあります。例えば、多拠点一括エネルギーネットワークサービス（サービス名称「JFE-METS^{※3}」）との組合せによる全社規模の脱炭素化推進、JFE エンジニアリンググループの J&T 環境による太陽光パネルリサイクル事業と連携した環境負荷低減など、あらゆるお客さまのニーズに対応します。

今後も多様なサービスを組合せて提供することで、JFE グループの 8 次中期経営計画の最終年度となる 2027 年度の累計発電容量 200MW 達成を目指し、お客さまの脱炭素化に一層貢献してまいります。

オンサイトPPA

敷地内(工場屋根等)に
当社が設備投資



電力・環境価値を取引

敷地

再エネ
発電所

電力

環境価値



需要家

図1 オンサイト PPA サービススキーム

オフサイトPPA (フィジカル)

敷地外の土地に当社or
事業パートナーが設備投資

再生
発電所



電力

環境価値



需要家

電力・環境価値を取引

図2 オフサイト PPA (フィジカル) サービススキーム

オフサイトPPA (バーチャル)

敷地外の土地に当社or
事業パートナーが設備投資

再生
発電所



卸電力市場

環境価値

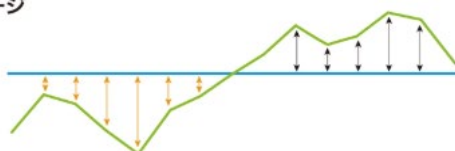


需要家

環境価値のみを取引

※差金決済イメージ

基準単価(円/kwh)



市場単価
基準単価
需要家が当社に支払
当社が需要家に支払

図3 オフサイト PPA (バーチャル) サービススキーム



写真【お客さま事例紹介】帝人株式会社 岩国事業所 太陽光発電設備

※1 事業化決定(内示)案件含む

※2「太陽光発電コーポレート PPA サービス」とは、第三者が需要家の敷地や屋根などを借用して太陽光発電システムを設置し、発電した電力を長期にわたり需要家に販売するモデルです。設置場所が電力消費場所と同じ場合はオンサイト型、異なる場合はオフサイト型と呼ばれます。需要家は初期投資ゼロで再生可能エネルギー由来の電力を活用でき、加えて電気料金の削減が期待できます。

※3 JFE-METS

<https://www.jfe-eng.co.jp/products/power/ele04.html>

本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します。

JFE エンジニアリング株式会社 総務部広報室